

(16) 種生神社 (たなおじんじゃ)

住所：三重県伊賀市種生1278番

TEL：0595-55-2368

参拝日：2013年8月21日

主祭神 武甕槌神

祭神 健甕須佐之男命、紀友雄、経津主命 速玉男命、大日靈貴命、大綿津見神、
天兒屋根命、菅原道真、火之加具土命、大山祇命、五男三女神、譽田別命、
大物主命、稲田比売命、天押雲命、大鷦鷯命、奥津彦命、奥津姫命

由 緒

本神社の前身は「鹿島神社」と号し、「伊水溫故」によれば創立は神護慶雲3年（771年）とある。祭神は武甕槌命、天兒屋根命、経津主命であった。明治37年5月以降同41年11月に至る間に、大字川上を除く旧種生村、大字霧生、奥鹿野を除く旧矢持村の村社九社及び無格社14社を合祀して、明治41年6月30日、種生神社と改称の旨公示せられた。隣接する常楽寺は別当寺であった。明治末葉に合祀した諸社のうち高尾、老川、腰山、諸木、福川の旧村社は昭和30年分祀し、旧の姿にもどった。（三重県神社誌、三重県神社庁）



石柱と手水舎



石段と鳥居



境内と拝殿

県道691号線沿いにある種生支所前バス停がらすぐの所に種生神社の石柱と灯籠が見える。手水舎を右に見ながら石段を登ると注連縄を張った明神造りの石の鳥居があり、さらに境内中央に敷かれた石畳を進むと、石段の左手に石灯籠が7つ、右手に8つ見える。この石段を登り2つ目の石の鳥居をくぐると軒破風のある拝殿があり、阿吽の石の狛犬が社殿を護っている。本殿は朱色の流造りで外削ぎの千木と5本の鰹木に加えて千鳥破風があり、この破風の上にも外削ぎの千木と鰹木が1本乗っている珍しい造りである。本殿右側には入母屋造りの朱色の社、左側には流造りの社が位置し、本殿のすぐ前にも阿吽の石造りの狛犬が設置してある。その他境内には直会所、東宝庫、西宝庫、祭器庫、参籠舎がある。



手水舎

生村)」とあるが、本社位置は大字霧生の東端にあつて南面の座、境内には千古の老樹が天を覆い、谿川横だわつて四時幽邃な神域である。昭和26年(1951年)に本殿が改修され、昭和46年(1971年)、拝殿が再建されて現在に至っている。「鹿嶋神社棟札」は、伊賀市の文化財(書跡・典籍・古文書)に指定されている。

(三重県神社誌 三重県神社庁)

創建年は不詳である。明治4年(1871年)、村社に列せられる。明治40年(1907年)、当地区内に在った八幡神社2社及び、愛宕神社1社並びに、津島神社2社、山神社1社を合祀した。昭和26年(1951年)、本殿が改修される。昭和46年(1971年)、拝殿が再建されて現在に至る。当社に在る「鹿嶋神社棟札」は、伊賀市の文化財(書跡・典籍・古文書)に指定されている。

(青山町史 青山町役場)



狛犬

